

PBLセミナーのご案内

「PBL教育体制の構築と授業展開 ―三重大学の例をふまえて―」 (文部科学省教育関係共同利用拠点事業)

関係各位

九州大学基幹教育院
次世代型大学教育開発センター長 川島啓二

このたび、下記の通り、公開PBLセミナー「PBL教育体制の構築と授業展開 ―三重大学の例をふまえて―」を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

【趣旨】九州大学では、アクティブラーナー育成を目的として、全学部1年生必修の「基幹教育セミナー」と「課題協学科目」を開講しています。また、来年度開設予定の共創学部では、協働的課題解決のリーダー育成という理念の下に、PBL(Problem-/Project-Based Learning)やTBL(Team-Based Learning)により学ぶ「協働科目」の開講が計画されています。これらの協働学習を効果的かつ効率的に運営するには、組織的にカリキュラム全体に位置づけることが重要です。

三重大学は、平成18年以来、PBLチュートリアルを中心とした能動学習を全学的に展開していることで知られ、この取り組みは昨年設置された地域人材教育開発機構(旧・高等教育創造開発センター)のアクティブラーニング・教育開発部門に引き継がれています。

本セミナーでは、まず、山田康彦氏(三重大学 教育学部・地域人材教育開発機構 教授、PBL立ち上げ当初の教育担当理事・高等教育創造開発センター前センター長)からPBL教育に関する体制構築の経緯と授業展開の事例等についてお話しいたします。引き続き、中西康雅氏(三重大学 教育学部・地域人材教育開発機構 准教授)のファシリテーションで、PBL教育における学習の質を左右するシナリオ教材をさまざまな専門分野で作成するワークショップを行います。

教育の分野を問わず、全国の教職員や教育関係者の方々にご参加いただき、教育プログラムのマネジメントや、全学的にアクティブラーニングを推進するノウハウ、学修成果を達成するのに効果的な教材開発について、ともに議論を深めたいと考えております。

【プログラム】

1. 講演「PBL教育体制の構築と授業展開 ―三重大学の例をふまえて―」(13:00～14:30)
2. PBLシナリオ作成ワークショップ(14:30～16:00)

【講師・ファシリテータ】

山田 康彦(三重大学 教育学部・地域人材教育開発機構 教授)

中西 康雅(三重大学 教育学部・地域人材教育開発機構 准教授)

【日時】平成29年9月22日(金)13:00～16:00

【会場】九州大学伊都キャンパスセンターゾーン・センター1号館4階1409号室

(福岡市西区元岡744 九州大学伊都キャンパス)

http://www.kyushu-u.ac.jp/f/30068/Ito_jp-2017.pdf

※上記キャンパスマップの59番です。

【定員】30名(先着順) 参加費:無料

【対象】大学教職員、PBLに関心のある教育関係者等

【参加申込】

<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/application/#form20170922>

申込フォーマットにてお申し込みください。

【締切】9月19日(火)17:00(ただし、定員に達し次第、受付を終了します。)

【問い合わせ先】

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

TEL : 092-802-6070 Mail : kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp

(タイトルに【9/22PBL セミナー】と記載して頂きますと幸いです。)

*平成28年7月に、九州大学基幹教育院は「教育関係共同利用拠点」として文部科学省から認定され、その実施組織として「次世代型大学教育開発センター」を設置いたしました。教育関係共同利用拠点とは、多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくために、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進するものです。

(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakukan/1375506.htm)

以上